

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

大阪府の人材育成の重点化を踏まえ、東大阪・八尾地域をはじめとする地元企業や広域な企業等との連携を強化し、地域産業のものづくり人材の育成を推進する。
「人づくり・ものづくり・夢づくり」のスローガンのもと、複合化する技術進展の課題に柔軟に対応しながら自己実現を探求し、寛容の気持ちで人と関わり、ものづくりに情熱をもって取り組み、グローバル社会で役割を担える逞しいエンジニアを育成する。

2 中期的目標

1 確かな学力と社会に向かう力を育成する学校

(1) 基礎基本の学力を定着させる

- ア 全ての教育活動においてコミュニケーション力、課題発見・解決する力、プレゼンテーション力を育成する取り組みを行う。
- イ 教科・学科（系）において授業内容、技術指導、評価の改善に取り組み、生徒の学びに向かう意欲を向上させる。
- ウ 保護者及び教員を対象とした公開授業期間を設定するとともに、生徒1人1台端末を活用した授業を推進し学校全体の授業力の向上を図る。
- エ 1学年で実施している基礎学力調査の分析結果（GTZ）に基づいた生徒個別の学習指導を行い学力の向上を図る。
※学校教育自己診断(生徒)「わかる授業（学習指導）」肯定率（R3：79%、R4：87%、R5：85%）85%以上を維持する。

(2) 社会人として必要な力を身につけさせる

- ア 再編整備計画における重点事業として、地域産業との連携強化によりデュアルシステムを推進し令和6年度より本格実施する。
- イ 地域産業連携重点校として2年生へのインターンシップを推進し、将来の職業への理解を深める。
- ウ 広域な企業や業界団体との連携による出前授業や、企業経営者による講演会等のキャリア教育・職業教育を推進する。
- エ 製造現場で役立つ資格・検定及び各種コンテスト等への参加を推進し、生徒の自信や意欲の醸成を図る。
※デュアルシステムが令和6年度より本格実施となることから、協力企業への就職や進路選択の充実に向けた取り組みを進める。
※令和8年度までのデュアルシステムの取組みに係る成果検証を行い、統合新校へ継承できるよう検討を進める。
※就職率100%を維持する。
※資格検定合格者数（R3：449人、R4：346人、R5：331人）300人以上を維持しつつ受検を推進する。

2 生徒一人ひとりを尊重し人間性豊かなエンジニアを育成する学校

(1) 教員が生徒一人ひとりの学習歴や生活背景を理解し、生徒との信頼関係に基づき毅然とした生活指導を行い、問題行動の未然防止や再履修生徒や転・退学生徒の減少に努める。
挨拶指導・遅刻防止指導・スマートフォン指導・校内美化指導・通学時の自転車マナー指導を徹底するとともに、学校全体で5S+2A（整理・整頓・清掃・清潔・躰+安全・挨拶）を推進する。

- ※転学・退学率（R3：6.4%、R4：5.7%、R5：8.3%）令和8年度までに3%以下を達成する。
- ※遅刻件数500件以下を維持する。（R3：548件、R4：403件、R5：407件）

(2) 人権教育や様々な講演会・研修を推進し、社会人に相応しい人格と態度を養う。

発達段階に応じた人権教育や安全指導、薬物乱用防止等の多彩な講演会・研修を実施する。

- ※学校教育自己診断(生徒)「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」肯定率（R3：90%、R4：92%、R5：92%）85%以上を維持する。

(3) 教育相談体制の充実を図り、生徒支援部・学年・系の連携による生徒支援を行い生徒の自己肯定感を高められる教育相談活動を行うとともに、学校での生徒の居場所づくりを推進する。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携しながら課題の早期発見と生徒に合った支援ができるようにする。

- ※学校教育自己診断(生徒)「担任の先生以外にも、悩み事などを相談できる先生がいる」肯定率（R3：67%、R4：73%、R5：75%）を向上させ、令和8年度までに80%に引き上げる。

(4) 生徒会執行部による体育祭や文化祭などにおいて生徒全員が主体的・自律的な活動ができるよう支援する。また、部活動の推進にも努める。

- ※部活動加入率（R3：44%、R4：63%、R5：68%）令和8年度までに70%を達成する。

3 安全安心で魅力ある学校

(1) 生徒が安心して過ごせる環境づくり

- ア 安全安心な高校生活のためのアンケートを実施し生徒の状況把握を行う。
- イ 支援人権相談会議を定期的開催し、生徒の情報共有を図るとともに地域の福祉機関からの情報についても共有を図る。
- ウ 生徒の防災意識を高めるとともに、防災マニュアルの見直し、不審者侵入時の対応マニュアルなどの作成により学校の危機対応能力を高める。
※学校教育自己診断(生徒)「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の肯定率（R3：85%、R4：88%、R5：90%）85%以上を維持する。

(2) PTA活動や学校運営協議会等の充実

- ※学校教育自己診断(保護者)「学校のPTA活動は活発である」肯定率（R3：73%、R4：80%、R5：83%）75%以上を維持する。
- ※学校教育自己診断(保護者)「本校の授業参観や学校行事に参加したことがある」肯定率（R3：36%、R4：52%、R5：57%）50%以上を維持する。

(3) 広報・渉外活動による学校の魅力発信

- ア 校外でのものづくりイベント等への生徒の積極的な参画を推進する。
- イ 学校HPへのタイムリーかつ効果的な情報の掲載を行う。
- ウ 統合新校に係る広報活動の在り方について検討を進める。
※学校教育自己診断(保護者)「学校は、教育情報について提供の努力をしている」肯定率（R3：79%、R4：82%、R5：82%）を向上させ、令和8年度までに85%に引き上げる。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分] | 学校運営協議会からの意見 |
|----------------------------|---|
| | ○第1回（令和6年6月ごろ開催予定） ○第2回（令和6年11月ごろ開催予定） ○第3回（令和7年2月ごろ開催予定） |

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標[R5年度値] | 自己評価 |
|--|---|--|---|------|
| 1 確かな学力と社会に向かう力を育成する学校 | (1) 基礎基本の学力を定着させる (2) 社会人として必要な力を身につけさせる | (1) ア PBL 導入にあたり1年生「キャリア設計」においてコミュニケーション力、プレゼンテーション力を育成する取り組みを行う。 イ 教科・学科（系）において観点別評価にあわせた授業内容改善の取り組みを行う。 ウ 保護者及び教員を対象とした公開授業期間を年2回設定し実施する。 エ 1学年で実施している基礎学力調査の分析結果（GTZ）に基づいた生徒個別の学習指導を行う。 (2) ア 地域産業との連携を強化しデュアルシステムを試行実施する。 イ 2年生へのインターンシップを実施する。 ウ 企業連携による出前授業や企業経営者による講演会を実施する。 エ 資格・検定への挑戦を促し、各種コンテスト等への参加も推進する。 | (1) ア 学校教育自己診断(生徒)「わかる授業(学習指導)」肯定率85%維持 [85%] イ 学校教育自己診断(生徒)「成績評価には納得している」肯定率85%維持 [87%] ウ 公開授業を年2回実施 [2回] エ GTZ 分析において個別学習指導により成績が上がった生徒80%をめざす。 [75%] (2) ア 協力企業20社、参加生徒40人 [14社、32人] イ 2年生全員参加 [100%] ウ 専門系における企業連携の取り組みを行い就職内定率100%維持 [100%] エ 資格検定合格者300人以上 [331人] | |
| 2 生徒一人ひとりを尊重し 人間性豊かなエンジニアを育成する学校 | (1) 生徒との信頼関係に基づいた生活指導 (2) 人権教育や様々な講演会・研修の推進 (3) 教育相談体制の充実 (4) 生徒会活動の支援 | (1) 生徒への丁寧な説明をしたうえで生活指導を行う。 ア 転・退学生徒の減少に努める。 イ 挨拶指導・遅刻防止指導を推進する。 (2) ア 人権教育を実施する。 イ 安全指導、薬物乱用防止講演会等を実施する。 (3) ア 学校での生徒の居場所づくりを推進する。 イ SC、SSW と連携し課題の早期発見に努める。 (4) ア 生徒全員が主体的・自立的な活動ができるよう支援する。 イ 部活動の推進に努める。 | (1) 学校教育自己診断(生徒)「学校生活についての先生の指導は納得できる」肯定率85%以上をめざす。 [84%] 学校教育自己診断(保護者)「学校の生活指導の方針に共感できる」肯定率85%以上をめざす。 [84%] ア 転・退学率5%以下をめざす。 [8.3%] イ 遅刻件数500件以下を維持 [407件] (2) 学校教育自己診断(生徒)「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」肯定率85%維持 [92%] (3) 学校教育自己診断(生徒)「担任の先生以外にも、悩み事などを相談できる先生がいる」肯定率80%以上をめざす。 [75%] (4) ア 学校教育自己診断(生徒)「体育祭、文化祭などの学校行事は楽しい」肯定率85%維持 [89%] イ 部活動加入率70%をめざす。 [68.0%] | |

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| <p>3 安全安心で魅力ある学校</p> | <p>(1) 生徒が安心して過ごせる環境づくり</p> <p>(2) PTA 活動や学校運営協議会等の充実</p> <p>(3) 働き方改革の推進</p> <p>(4) 広報・渉外活動による学校の魅力発信</p> | <p>(1)</p> <p>ア 安全安心な高校生活のためのアンケートを実施する。</p> <p>イ 支援人権相談会議を定期的開催し、生徒の情報共有を図る。</p> <p>ウ 生徒の防災意識を高める。</p> <p>(2) 校内外での PTA 活動を推進する。</p> <p>(3)</p> <p>ア 校務運営の効率化を図る。</p> <p>イ ストレスチェックを踏まえた改善を図る。</p> <p>(4)</p> <p>ア 大阪府産業教育フェア、校外でのものづくりイベント等へ生徒を同行させ PR 活動を行う。</p> <p>イ 学校 HP へのタイムリーかつ効果的な情報の掲載に努める。</p> <p>ウ 統合新校に係る広報活動の在り方について検討を進める。</p> | <p>(1)</p> <p>ア 生徒の状況把握の結果を踏まえ、専門人材を活用しながら、生徒への対応を行う。</p> <p>イ 学校教育自己診断(生徒)「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」肯定率 85%維持 [90%]</p> <p>ウ 防災避難訓練の実施</p> <p>(2) 学校教育自己診断(保護者)「学校の PTA 活動は活発である」肯定率 80%維持 [83%]、「本校の授業参観や学校行事に参加したことがある」肯定率 50%維持 [57%]</p> <p>(3)</p> <p>ア 会議資料のペーパーレス化を進め、職員会議をオンラインや会議室とオンラインのハイブリッドでの実施 50%をめざす。 [新]</p> <p>イ ストレスチェックの健康リスク指数、全国平均の 100 以下をめざす。 [101]</p> <p>(4)</p> <p>ア 校外での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりイベント 5 件維持 [9 件] ・説明会 5 件実施 [4 件] <p>イ 学校教育自己診断(保護者)「学校は、教育情報について提供の努力をしている」肯定率 85%以上をめざす。 [82%]</p> <p>ウ 統合新校の教育内容に応じた広報活動について教育庁及び城東工科高校とも連携・調整しながら検討する。</p> |
|--------------------------|--|--|---|